Governor's Monthly Letter

Rotary International District 2800

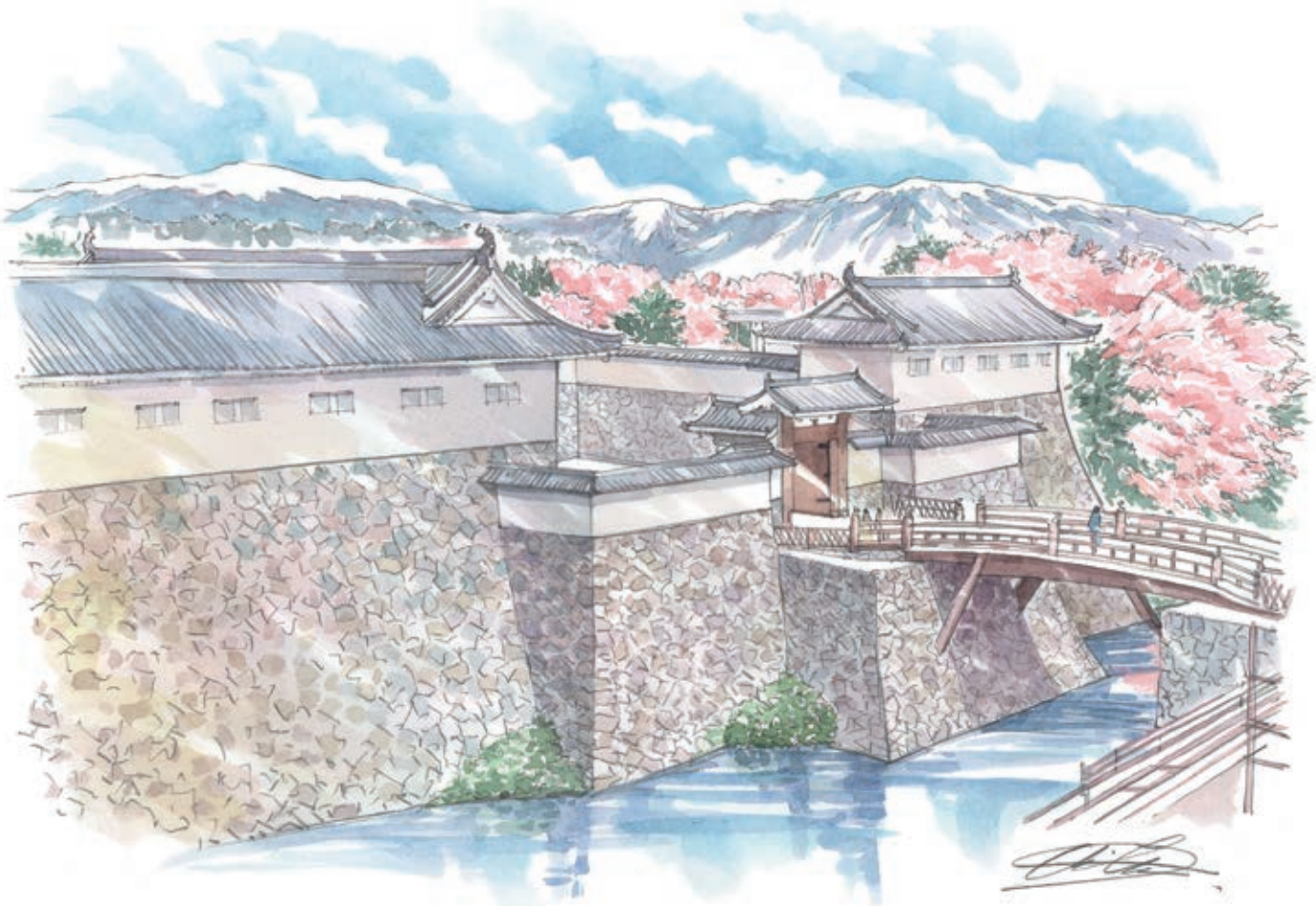
2019-2020

ガバナー月信

4

基本理念

元気なクラブづくりのために
「ロータリーの木」の苗木を植えましょう
クラブに、地域社会に、世界に、次世代の為に



霞城公園東大手門（山形市）

（絵）上野 啓太

CONTENTS

- ガバナーメッセージ
- 会長エレクト研修セミナー（PETS）報告書・R財団補助金管理セミナー報告
- 第4ブロックIM報告・ガバナーノミニー・デジグネート プロフィール
- ガバナー公式訪問
- 鶴岡ローターアクトクラブ －ガバナー公式訪問－・鶴岡東高等学校の皆様からのコメント
- 青少年交換学生マンスリーレポート
- 2019－2020年度クラブ会員数・出席率一覧
- ロータリー財団寄付／新入会員／訃報／お知らせ
- 3月のスケジュール

国際ロータリー第2800地区 2019-2020年度

カバナー 大久保章宏｜地区幹事 鈴木政康｜地区資金委員長 菊川 明

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー｜RI理事 三木 明

新型コロナウイルスに負けるな

CONVID-19（新型コロナウィルス）への対応

国際ロータリー 2019-2020年度
第2800地区ガバナー
大久保 章宏

中国で発症した新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、蔓延が更に拡大傾向にあります。３月11日、WHOのテドロス事務局長は、「新型コロナウイルスはパンデミックと言える」と述べて世界的な大流行になっているとの認識を示したうえで、各国に対して対策の強化を訴えました。人々の日常生活は言うに及ばず、教育面、文化面にもその影響が広がり、街中や観光地からは人影が去って、今や実体経済にも深刻の度合いが進んできています。

ロータリー活動においても様々な問題を抱え、対応に追われている事と思います。地区では、３月３日に「例会の開催について」を全クラブ宛発信し、各クラブのお考えで、例会の運営をしっかりと考え対応して頂く事をお願いしました。７日には地区危機管理委員会を開催し、３月以降の地区ロータリー事業について協議を行いました。４月開催予定でした「第８回全国インターアクト研究会」については「中止」の決定が採択され、全国に「中止」の発信を行いました。５月開催の「第25回全国青少年交換研究会」は２月の時点で、RIJYEMより「中止」の連絡を頂き、既に全国に発信されています。地区研修・協議会は６月に「延期」、ライラは次年度共同開催で「延期」となり、その他多くの地区ロータリー行事の変更が発生しています。既に変更内容は、全クラブへ発信済みであります。地区内開催の周年行事、IM等も大きな変更を余儀なくされています。関係者の皆様方には大変なご苦労をお掛けしている事と思います。例会を「休会」にされているクラブも多いのではないかと思いますが、各クラブ会長の強いリーダーシップにより、会員皆様方の意思統一が行われている事を願っております。

全国的にも、４月開催の地区大会（５地区）全てが「中止」となりました。全国規模のセミナーも「延期」となっております。また、2019-20年度の国際大会（ハワイ大会）が残念ながら「中止」となりました。

一番大切な事として、３月の昼夜問わず毎日対応に追われていますのが、青少年交換留学生、グローバル補助金奨学生、米山奨学生の安全の確保です。青少年交換留学生（OBS、IBS）共にRIJYEMからの指針により、2800地区でも危機管理委員長との協議の上、３月13日に双方の留学生に対し、３月27日までに帰国する事を指示しました。RIJYEMからも「来日学生全員を早急に母国に帰国させる」基本方針が出され、留学生本人の安全確保を第一に考えて、関係者間の意思確認と意向調整を進めるよう訓令が地区に届きました。帰国指示に対して残留を希望する場合は、「自己責任」に於いて残留を希望する「プログラム継続願」に、本人、親権者、クラブ、それぞれの署名を求め、３月28日以降は「自己責任」に於いての留学となります。全国的には大半の交換留学生が帰国、または帰国の準備を進めており、親権者のもとに安全に帰ってくることを願っています。グローバル補助金奨学生は、ロータリー財団からの指針に基づいての対応。米山奨学生は、大学の指示により、帰国・残留が決定され、その指示に従うことになっております。

マローニーRI会長からのメッセージを下記に記します。

「ロータリーでは、会員の皆さまの健康と安全を最優先し、新型コロナウイルス（COVID-19）の状況をモ

ニタリングしながら、ロータリーの運営、研修セミナー、各種行事に与える影響を継続的に注視しています。

状況が刻々と変わるため、クラブと地区の会合や行事、ロータリーのプログラムと活動については、皆さまが各自で判断されることを奨励いたします。会合やロータリー関連の旅行は、中止または延期するのが最善かもしれません。予定通りに行事が開催される場合でも、欠席を選ぶ人もいるでしょう。もちろん、世界保健機関（WHO）および皆さまの国または地元保健当局がウイルス拡散防止のために集会や旅行の中止・延期を勧告したり、禁じたりした場合には、その勧告に従ってください。」

このようなメッセージを頂いています。そしてこのような時期だからこそ、ロータリーは会員相互の連絡を密にし、助け合い、ロータリーの力を発揮する時と考えています。例会が休会だから、イベントが出来ないから、奉仕活動が出来ないから…では無く、各クラブの「ロータリークラブ定款」をお読みください。会員同士が集まる事が困難な時期、このような時こそ様々な通信手段を駆使して、アイデアを出して考え、対応頂きたいのです。オンライン会合は、クラブにとっては例会として開催していただける手段でもございます。（標準ロータリークラブ定款第７条第１節（b）会合の方法）

会合の方法

例会は、直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催する事ができる。参加型の会合は、参加型の活動が掲載される日に開かれるとみなされるものとする。とあります。様々な事が考えられます。是非、各クラブに於いて、よく話し合い（電話でも結構でしょう。メールでも結構でしょう）強いリーダーシップにより、クラブ運営をしっかりと対応いただき、「さすがロータリークラブ」と思っていただけるような対応をお願いします。今年の公式訪問でもお話し申し上げました「革新性」と「柔軟性」が大切です。そして何より2019-20年度の大きなテーマは、「つながり」です。多くのクラブにとって従来のクラブ運営とは異なった運営を求められる2019-20年度です。「元気なクラブづくりのために、一歩前に踏み出しましょう」と皆様方にお願いしました。「つながり」続ける事が一番大切です。「つながり」続けるために、一つの手段としてご検討いただき、アイデアを出して、皆さんと共に一歩前に踏み出したいと考えています。

今後のCONVID-19の蔓延の情況を注視しながら、地区内すべてのクラブに対して、次の通り、ロータリーらしい行動をお願いする次第です。

1．国際ロータリーは感染者が世界的に増えていることを受けて、会員とプログラム参加者の健康をまもるため、会員と参加者が世界保健機構（WHO）及び各国政府の保健当局のガイドラインに従うことを推奨しています。WHOは国境を越えた感染リスクの評価を最高レベルの「非常に高い」に引き上げています。

2．こうした状況を鑑み、日本政府は直接集まる会合は延期または中止とするか、オンライン会議もしくは電話による会議として行うよう、勧告しています。標準ロータリークラブ定款に記載の通り、クラブ理事会は流行病が発生した場合、例会を取りやめることが出来ます。但し３回を超えて休会をつづけることはならない、とありますが、現実は非常事態にあると考えてください。クラブリーダーの皆様には、理事会の議論を経て、例会の取り扱いを可能な限り弾力的な取り扱いとするよう推奨します。

3．６月６日から10日まで米国ハワイ州ホノルルで行われる国際大会は中止になりました。国際ロータリーは、今後もウイルスの状況を注視し、WHO、米国国務省などの勧告に従い運営されていきます。ロータリーは参加者の健康と安全を最優先し、参加者を保護するために必要なあらゆる予防措置を講じます。

困難に立ち向かう2019-20年度になりました。私も皆様方も初めての経験と思います。WHO、政府、県、市町村等の発表を重視し、ロータリーファミリーの安全を確保する事を優先に、ロータリーファミリーが一丸となって、この新型コロナウイルスとの戦いに立ち向かい、勝利することを願っています。東京オリンピック2020も一年延期となりました。2021年には新型コロナウイルスに勝利した証として東京オリンピックが全世界の注目を浴び開催されることと思います。是非皆様と共に来年の東京オリンピックに夢を馳せて、2019-20年度、年度末までしっかりと歩み続けて行きましょう。

元気なクラブづくりのために　一歩前に踏み出しましょう
特別月間「母子の健康月間」

４月は「母子の健康月間」です。このテーマは日本では身近に感じることがないと思います。日本の母子の健康状況は、世界的にも高水準のサポートが出来ている国と思います。病気等による母子の健康状況により、治療が困難な状況は、世界の中では極めて低水準な国と思います。それだけ国民が医療のサポートを受ける事が出来る高水準な医療サポート体制が整っている国です。しかし世界を考えてみますと、必ずしも医療サポートを受ける事が出来ない状況は各地で多く発生しています。母子の健康を考えれば、先月の水と衛生問題とも大きな係わりがあると考えます。安全でサポートを受ける事が出来る環境を構築するには、ロータリーが掲げています6つの重点分野が密接に関係していると思います。

MY ROTARYには、「毎年、５歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定590万人。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリー会員は考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行っています。」と書かれています。

疾病、栄養失調、医療の不備、不適切な衛生設備が原因で毎年、５歳未満の子ども630万人が亡くなり、避妊を望む女性のうち２億　2,200万人が安全で効果的な避妊法を利用できません。またサハラ以南のアフリカでは、39人に１人の女性が妊娠中または出産による合併症で亡くなっています。そしてリプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）の医療と研修を充実させることにより妊産婦の死亡を80%防ぐことができます。これらのさまざまな問題に対して、私たちはどの様な活動を考える事が出来るでしょうか。予防ワクチンや抗生物質を提供するプログラムを支援する事が出来ます。はしか、マラリア、肺炎、エイズ、下痢性疾患は、５歳未満の子どもの主な死亡要因となっているのです。母乳の奨励（適切な場合）など栄養摂取の大切さを呼びかけ、抗レトロウイルス薬や粉ミルクでの育児を奨励することで、母から子へのHIV感染を予防する事も出来ます。

日本のロータリークラブでもさまざまな支援を行っています。相模原橋本ロータリークラブでは、現地のダンリ・ロータリークラブ、岡山県に本部を置く非営利法人AMDA社会開発機構（AMDA-MINDS）と協力して、ホンジュラスのエル・パライソ県で、新生児と妊産婦死亡率の改善を目的とする「El　Paraiso　Safe Childbirth　Project（エル・パライソでの安全な出産プロジェクト）」を実施しました。このプロジェクトはロータリー財団のグローバル補助金110,000ドル（約1,200万円）を活用したものです。このプロジェクトを通じてエコー検査を受けた母親シルビアさんは、検査で「リスクあり」と診断され、中央病院で帝王切開により無事長女フェルナンダちゃんを出産しました。

避妊教育や避妊具の提供といったニーズを満たすだけで妊婦の死亡率を３分の１近く減らすことができるのです。皆さんと共に考えてみましょう。私たちに何ができるのか。アイデアはあるはずです。「ロータリーの木」の苗木を植える時です。一歩前に踏み出しましょう。安全な環境を構築するための一歩を始めませんか。宜しくお願いいたします。

会長エレクト研修セミナー（PETS）報告書

PETS 実行委員長　佐藤　清一

第2800地区49ロータリークラブの会長エレクト、次期幹事の皆さんと地区委員の皆さんに２月22日県南の米沢に集まっていただきました。例年よりも30分遅い開会でしたが過去に経験のない雪の無い真冬に、遠い庄内からも早く到着して頂き驚きました。

実行委員会としては、米沢中央ロータリークラブが中心となり例会扱いでクラブを挙げて実行委員として協力しました。

開会前の駐車場の係から受付、本会議は会場設営、司会進行、昼食等々、宿泊、交通の係の方など皆さんのご協力によりスムーズに進行出来ました。

本会議では羽生吉弘次期地区幹事の司会進行により、齋藤榮助ガバナーエレクトによる2020-2021年度RIテーマ、地区目標・方針の発表があり、それを受けて決議事項（案）・申し合わせ事項（案）・次期地区予算（案）が提示され、さらに各委員会の事業計画も発表されて次年度の具体的活動方針が示されました。

また、時代の流れに呼応して今回の国際協議会に参加された地区ローターアクト代表エレクトの板垣沙織さんの報告もありました。

その後、懇親会では石井宏幸会員の司会進行によりアトラクション「愛の武将隊による演武」、次期ガバナー補佐、クラブ会長エレクトの紹介などもあり大変盛り上がりました。

そして二次会は、PETSが地区内で親睦を深める一番の機会として米沢中央ロータリークラブがホストとして呼びかけ多数の皆さんの参加を頂きました。

お陰様で大変有意義な会長エレクト研修セミナー（PETS）を行うことができました。ありがとうございました。

Ｒ財団補助金管理セミナー報告

次期Ｒ財団委員会
補助金・奉仕プロジェクト小委員会
委員長　和田　　實

例年通りPETS翌日（２/23）開催されました。

本セミナーは次年度（齋藤年度）の地区補助金活用の為、手続き上地区としてＲ財団に対し５月15迄に申請を完了させねばならず、その為各クラブからの申請は３月末日で締め切らざるを得ず、毎年２月に開催されています。

基調講演としてPG長谷川憲治Ｒ財団委員長は、世界の現状（貧困状況）の中でのＲ財団の使命、その使命を達成する為にはロータリアン一人一人からのＲ財団への寄付が不可欠になること。Ｒ財団の歴史と、ポリオ撲滅・世界平和の推進等ロータリアンが世界中で良いことをするバックボーンの役割を果たしてきたことを解説され、今年度当2800地区で38の事業に対し6.53百万円の地区補助金を、又グローバル補助金も１件３万ドル（3.3百万円）を承認したことの報告がありました。こうした地区補助金・グローバル補助金を活用し、意義ある奉仕活動を実施頂く為にも、地区としてのＲ財団への寄付目標150ドル/人の達成にご努力賜りたい、と結ばれました。

続いて地区補助金担当より、齋藤年度の地区補助金活用可能金額が57,570ドル（約633万円）と比較的高額なること、申請手続き上の留意点を説明。

又、武山茂次期国際奉仕委員長よりは、グローバル補助金の実施例を細かく解説、心配する程ハードルは高くないこと、地区補助金の運用と異なり、申請は何時でも可能であること、クラブ負担ゼロでも実施可能なこと等具体的に説明されました。（但し、奨学生、職業研修チーム、ボランティアの旅行を含む申請書は、旅行日の90日前までに提出する必要があり、８月、９月、10月のいずれかの月に留学を開始する奨学金の申請は、６月30日までに提出する必要があります。）

最後に、出席者との質疑応答が行われ定刻に閉会となりましたが、地区補助金に関しては例年にも増しての申請を委員会として期待していますこと、又グローバル補助金は予算額にも余裕あることから多くのクラブで活用を検討頂きたく、その為には「出前卓話」を是非ご活用頂く様お願い致します。

第４ブロックIM報告

日時　令和２年２月29日（土）
場所　大江町中央公民館・きくや

第４ブロック・ガバナー補佐
大江RC　藤野　和男

全国的に新型コロナウイルスの影響でイベントの自粛、或は中止が要請されている中でのIM開催となりましたが、第４ブロックのロータリアンからは格段のご理解を賜り、本会議並びに懇親会を無事に終える事が出来ました。２月29日の開催でしたが、その後、出席者のどなたからも発熱したという事故もなく、クラブ内外から開催の意義と結果を評価していただき一安心をしているところであります。

IMの目的は、ロータリーの目的に繋がるようなテーマを会員同士が討論し合い、得られたロータリー情報により、ロータリアン各自の研鑽を高めると共に、第４ブロック内の親睦を深める事にあります。今回のIMは「新たな視点で拓く、これからのロータリー」をテーマとして、第一部では「たかがロータリー、されどロータリー、それでこそロータリー」の入会直後から現在に至るまでのロータリー観を、各クラブ代表よりスピーチを頂戴しました。

第二部では、会員増強・退会防止をテーマに、これからのロータリーのありかたの討論を行い、居心地の良いクラブづくりが大切などの意見が交わされました。

大久保ガバナーからも指導いただき、安孫子パストガバナーから講評を頂戴し、次期開催クラブの河北ロータリークラブを紹介し、閉会点鐘となりました。

大懇親会は、例会場の「きくや」に移動し、天童出身の「訛シンガーソングライター」の山口岩男さんのミニライブから大懇親会がスタートし、鈴木一作パストガバナーの乾杯で盛り上がり、会場が明るい中でのクライ（暗い）マックスとなりました。めでたし！めでたし！

2019－2020ガバナーノミニー・デジグネート プロフィール

佐藤　孝子

所属RC：鶴岡RC
RC入会年月日：2000年12月12日
職業分類：薬剤師
勤務先：医療法人孝歯会佐藤歯科診療所　理事

〈学歴・職歴〉

1968年３月	捜真女学校　卒業
1972年３月	北里大学薬学部製薬学科　卒業
2001年３月	（医）孝歯会 佐藤歯科診療所 理事就任
2008年７月	（株）バイタルネット　入社
2010年６月	（株）バイタルネット　退職
2011年９月	（株）コーア　入社

〈ロータリー歴〉

2004－2005年	鶴岡RC　幹事
2010－2011年	鶴岡RC　会長
2003－2004年	財団年次寄付小委員会委員
2005－2007年	インターアクト小委員会委員長
2007－2008年	会員増強退会防止委員会 レディス小委員会委員長
2008－2009年	会員増強会員維持委員会委員長
2011－2014年	新世代奉仕委員会委員長
2013－2014年	青少年交換小委員会委員長
2014－2015年	青少年奉仕委員会委員長
2020－2021年	第２グループガバナー補佐 ベネファクター マルチプル・ポールハリス・フェロー 米山功労者マルチプル

ガバナー公式訪問 Governor's Official Visit

新庄あじさいロータリークラブ

会長　箱山　　繁
幹事　有路　明弘

来訪日 ▌9月26日（木）　例会場 ▌ニューグランドホテル

世界で一番明るく、楽しい、元気なクラブを目指す

9月26日（木）、当クラブの第988回例会において、ガバナー公式訪問例会が開催されました。例会に先立ち開催された、会長幹事会には、第2800地区大久保章宏ガバナー、第３ブロック甲州則雄ガバナー補佐にご臨席いただき、RI方針、地区方針、そして大久保ガバナーのロータリーに対する熱い思いをお話いただきました。クラブの実態、実情に合わせた委員会構成、クラブ運営体制を再考することも推奨していくという、クラブ活動への柔軟な理解をお示しいただきました。続く例会も終始、非常に和やかなムードで開催されるとともに、ガバナーの講話によってロータリー活動への理解、学びを深めるよい機会となりました。ガバナーからは、ロータリー100年を記念した鐘も披露され、写真に納める会員もいました。また例会の最後には当クラブが主催し開催した第３ブロックゴルフコンペにおけるニコニコBOXの収益金を地区に贈呈させていただきました。

当クラブの箱山会長は年度当初に「世界で一番明るく、楽しい、元気なクラブを目指す」というローガンを掲げております。まずは会員がロータリー活動を楽しいと思ってもらえるよう、ガバナーからご教示いただいたことを今後のクラブ活動に反映して参りたいと考えております。

（幹事　有路明弘）

余目ロータリークラブ

会長　斎藤　恒美
幹事　庄司　武晴

来訪日 ▌10月８日（火）　例会場 ▌庄内町商工ふれあい会館

50周年を迎え、新しい一歩を！

10月８日（火）庄内町商工会において、大久保ガバナー公式訪問が行われました。会長・幹事会においては次期会長・幹事も同席し、ガバナーはじめ廣瀬第二ブロックガバナー補佐よりロータリーの基礎からご指導いただきました。改めて、クラブの運営を見直すことが出来参考となりました。早速今後のクラブつくりに取り入れることが出来ました。

例会の卓話においても、ガバナーの想いが熱く伝えて頂きました。会員増強はもちろん、「前にふみだす一歩」その勇気が必要と…。

当クラブは、本年度50周年を迎えます。会員一同力を合わせて新しい一歩をスタートしたいと、心を一つにしたところです。そして「元気なクラブ」をめざしたいと思います。

大久保ガバナーはじめ廣瀬ガバナー補佐、そして同行して頂いた地区役員の方々にはお忙しい中当クラブにお越しいただき、ありがとうございました。

（幹事　庄司武晴）

鶴岡ローターアクトクラブ　ーガバナー公式訪問ー

2019-20年度鶴岡ローターアクトクラブ 副会長　**匹田　枝里**

3月16日（月）にガバナー公式訪問を開催致しました。今回は大久保章宏ガバナー、廣瀬豊第２ブロックガバナー補佐ほか、提唱RCからも多くのご参加を頂きました。

大久保ガバナーの卓話では、ガバナーのロータリーに対する思い、ローターアクトに今後求められる事などをお話頂きました。ガバナーの役割は各クラブのモチベーションを上げる事、クラブの活性化のサポートをする事にあり、各クラブが主体性を持って積極的に活動する事がロータリー、ローターアクトの発展の為には何より重要である、というお話を伺いました。現状に満足するのではなく、より充実した活動が出来るよう、会員一同積極的に行動していきたいという思いを強めた公式訪問となりました。

鶴岡東高等学校の顧問の先生、生徒さんからガバナー公式訪問のコメントをいただいたので抜粋してご紹介いたします。

鶴岡東高等学校インターアクトクラブ顧問（H・M）

先日はお忙しいなか、お時間をつくっていただき貴重なお話をありがとうございました。生徒・顧問ともに大変勉強になりました。生徒たちの感想を短くまとめましたのでお目通しいただければ幸いです。今後共ご指導下さいます様、よろしくお願い申し上げます。

2学年（S・N）

仲間づくりのために組織された団体が世界中に広がり、ポリオ撲滅に取り組んでいます。ロータリークラブが掲げたポリオ撲滅の夢は、世界が一丸となって取り組むべき課題だと思いました。

私は、進学、就職後もインターアクトクラブで教えていただいた「つながり」を大切にしていきたいと思っています。

1学年（I・M）

多種多様な人が集まっているロータリークラブ会員、そのつながりをとても大事にしている。そのことをお聞きしてロータリークラブが週に一度行っている例会で意見交換することはとても大切なことだと思いました。私は、ボランティアの定義を教えていただいたことがきっかけで、あらためて自分自身をしっかりと見直そうと思いました。そして、自らチャンスを取りに行くのはもちろん、友だちとのつながりも今まで以上に大切にしていきたいと思います。

1学年（K・S）

大久保ガバナーの講和をお聞きしてロータリークラブの原点やいろいろな人とのつながりの大切さを教えていただき、私もface to face でのコミュニケーションを心がけて周囲の人とのつながりを大事にしていきたいと思いました。また、ボランティアは無料奉仕ではなく自分たちの時間と努力を提供することだということも知りました。今日はありがとうございました。

1学年（M・I）

ポール・ハリスさんが設立した国際ロータリークラブの原点は、「さびしい」「仲間がほしい」と思い、シカゴの町で地域社会に対する奉仕の一環として公衆トイレを設置したことを知りました。４人ではじめたクラブが今では世界中にロータリーの輪が広がっています。そして、クラブ会員に週1回の例会に出席することを強く求めるのは、多種多様な人々が集まって、顔を合わせて意見を交換することを一番大切にしているからだという話を聞いて、私も今から人とのつながりを大切にしていきたいと思いました。

1学年（K・K）

大久保ガバナーのお話を聞いて国際ロータリークラブ設立のきっかけを知りました。シカゴの地域をよくする活動から世界をよくする活動に広がり、今や世界中の多種多様な人々が仲間に加わりました。また、ボランティアの本来の意味「自分の持っている時間や労力を提供する」もわかりました。私もつながりを大切にしていきます。そして、自分の意思でチャンスを積極的につかむか、避けるのかを決めることができるとわかったのでこれからの決断にいかしていきたいと思います。

Monthly Report

青少年交換学生マンスリーレポート

アメリカ便り

齋藤亜優香

報告年月日／ 2020 年 2 月 28 日
派遣地区・国名／ 5190 地区・アメリカ
ホストロータリークラブ名／ Susanville Sunrise Rotary Club

アメリカでの生活も残すところあと３ヶ月となりました。２月28日から第三ホストファミリーへ移動しました。第二ホストファミリーと第三ホストファミリーが普段から一緒に旅行へ行ったりするなどとても仲が良かったため、何度も一緒にお食事に行ったりしていたので不安や緊張は全く感じることなく最後のホストファミリーのもとへ来ることができました。２ヶ月間お世話になったホストマザーとホストファザーには感謝の気持ちでいっぱいです。これから帰国までの約３ヶ月間、新しいホストファミリーとの親睦をより深めることができればいいなと思っています。

今月の初めに、リノでのオリエンテーションがありました。今回のオリエンテーションでのインバウンドの役割は主にアウトバウンドのサポートで、アウトバウンドがそれぞれの派遣予定の国から来たインバウンドのもとへ行き、質問やアドバイスをもらうというものでした。前回のオリエンテーションで、自分の国をアウトバウンドへ紹介、アピールするという機会があり、うまく自分の言葉だけで日本の魅力を伝えることができたのかオリエンテーションが終わった後もずっと不安でいっぱいでした。そして迎えた今月のオリエンテーション、集合場所で久しぶりに会ったインバウンドの友達と話していると一人のアウトバウンドの男の子が話しかけてくれて、「僕、日本に留学することにしたよ！前回のあゆかの話を聞いて日本にすごく興味をもったんだ！」と言ってくれました。もうその時はとにかくうれしかった、頑張ってほしいなと思いました。私のまだまだぎこちない英語でも諦めず笑顔で伝えてよかったなと思いました。これからの彼の留学に向けてインバウンドとして全力でサポートしていきたいと思います。

そして今月の半ばには第二ホストファミリー、第三ホストファミリーと一緒に山へ行きました。そこで私は人生初のスノーボードに挑戦しました。思っていたよりも数倍難しく、ひざにはあざができるし、おしりもいたいしで、心が何回も折れそうになりました。その時は二度とやるものかと思っていました。しかし、ホストファザーたちはねばり強く滑るときの姿勢や重心などを細かく教えてくれて、こんなに教えてくれているのに諦めてはいけないと思い、根性を振り絞ってその日一日練習に励みました。その結果、最初は３メートルほどしか進めなかった私が初級の坂を滑ることができるようになりました。できなかったことができるようにった達成感がありました。教えてくれたホストファザーたちと連れてきてくれた両ホストファミリーに感謝です。

来月は、第三ホストファミリーがフロリダのディズニーワールドへ連れて行ってくださいます。皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、楽しんできたいと思います。
See you next month!!

Monthly Report

青少年交換学生マンスリーレポート

台湾便り

渡辺 愛澄

報告年月日／ 2020 年 2 月 27 日
派遣地区・国名／ 3462 地区・台湾
ホストロータリークラブ名／水里社RC

皆さんこんにちは。台湾3462地区に派遣させていただいている渡辺愛澄です。

台湾に来て、約６か月が経ちました。今月は日本でいう冬休みの期間で、様々な場所に旅行、お出かけしてきました。台北、台中、台南、台東に行ってきました。台湾のほとんどの地方に行くことができてとても貴重な機会だったなと感じます。また、旅行の中で使う交通手段も今まで体験したことがなかったMRTに乗り、乗り方などを学ぶことができました。しかし台北駅の広さはどこの駅よりも広く、たくさんの出入り口があり難しかったです。台北旅行では、台北101の展望台から綺麗な台湾の風景を見渡しました。また、十份に行き願いを込めてランタンを上げてきました。台南旅行では、奇美博物館と海洋博物館にいってきました。また、台湾最南端の海を眺めてきました。台東にはIBSの皆と行ってきました。お寺のお祭りに一緒に参加して、大きな大仏を見てきました。そして、この冬休みの期間はIBSの中でもとても仲の良い友達で台中に遊ぶに行くことが多く、とても楽しむことができました。なにより台中の有名なナイトマーケット、おしゃれなカフェなど今までに行ったことのない場所に行くことができてとても良かったです。そして交通手段のバスも慣れることができて、使う機会が増えました。

この約１か月の間で多くの場所に行き、初めての体験ができて、台湾の有名な場所について知ることができました。毎日が充実して時間があっという間に過ぎて行ってしまうなと感じます。今お世話になっている第２ホストファミリーと一緒に過ごす期間はあと残り約１か月です。これからも家族との会話を増やしながら１日１日を大切に過ごしていきます。

新型肺炎の影響により冬休みの延長がありました。そのために今月は１日しか学校に行くことができませんでした。久しぶりに会ったクラスメイトと話がとても盛り上がりました。会話のほとんどを中国語で話すことができるようになった私を褒めてくれて改めて自分自身で成長を感じることができます。これからも多くの人との会話を楽しみながら語学力を高めていきたいです。そして学校が始まったので、これからPPTの紹介をさせていただく機会が増えます。山形県河北町代表としての自覚をしっかり持ちながら紹介を頑張ります。

関わっていただいているすべての方に感謝してこれからも頑張ります！

これからも多くの方々の多くの笑顔と元気を届けます！ ☺

再見！

2019－2020年度クラブ会員数・出席率一覧

●クラブ数／49クラブ　●会員数／1,601名　●累計出席率／83.53%（2020年２月29日現在）

ブロック	クラブ名	2019年７月１日		2020年２月29日			年初からの増減数				累計出席率
		会員数（女性会員数）		会員数（女性会員数）		出席率	増（女性会員数）		減（女性会員数）		
第1ブロック	酒田	26	(3)	21	(3)	71.43	0	(0)	5	(0)	66.53
	酒田東	33	(5)	34	(5)	93.20	1	(0)	0	(0)	82.04
	酒田中央	43	(0)	44	(0)	69.92	1	(0)	0	(0)	72.95
	酒田スワン	18	(7)	18	(7)	77.94	0	(0)	0	(0)	79.72
	酒田湊	16	(3)	16	(3)	93.33	0	(0)	0	(0)	94.71
第2ブロック	鶴岡	28	(6)	29	(6)	81.04	2	(0)	1	(0)	86.41
	鶴岡西	30	(3)	30	(3)	79.31	0	(0)	0	(0)	77.33
	余目	34	(1)	35	(1)	85.29	1	(0)	0	(0)	79.09
	鶴岡東	25	(1)	28	(2)	77.03	3	(1)	0	(0)	80.88
	鶴岡南	19	(2)	20	(2)	71.93	1	(0)	0	(0)	73.26
第3ブロック	天童	46	(4)	46	(4)	95.53	0	(0)	0	(0)	94.02
	東根	35	(1)	38	(1)	87.38	3	(0)	0	(0)	83.93
	天童東	53	(0)	52	(0)	83.52	1	(0)	2	(0)	83.77
	天童西	15	(3)	15	(3)	100.00	0	(0)	0	(0)	83.93
	東根中央	46	(4)	48	(3)	72.22	3	(0)	1	(1)	75.04
	村山	9	(0)	9	(0)	100.00	0	(0)	0	(0)	100.00
	新庄	13	(2)	15	(2)	86.67	3	(0)	1	(0)	86.79
	尾花沢	18	(0)	18	(0)	79.63	0	(0)	0	(0)	82.40
	最上	23	(2)	23	(2)	69.57	0	(0)	0	(0)	56.46
	尾花沢中央	13	(0)	14	(1)	94.64	1	(1)	0	(0)	91.58
	村山ローズ	18	(5)	17	(5)	84.31	0	(0)	1	(0)	85.29
	新庄あじさい	16	(0)	17	(0)	82.35	1	(0)	0	(0)	83.75
第4ブロック	寒河江	47	(3)	46	(3)	73.75	1	(0)	2	(0)	78.77
	大江	17	(1)	18	(1)	90.07	1	(0)	0	(0)	91.86
	河北	29	(0)	29	(0)	85.19	1	(0)	1	(0)	90.46
	寒河江さくらんぼ	41	(3)	43	(3)	76.98	2	(0)	0	(0)	86.16
	西川月山	13	(0)	13	(0)	69.23	0	(0)	0	(0)	84.00
第5ブロック	山形	89	(1)	89	(1)	99.64	4	(0)	4	(0)	99.72
	山形北	62	(2)	67	(3)	88.55	6	(1)	1	(0)	90.41
	山辺	25	(0)	28	(0)	96.43	3	(0)	0	(0)	90.33
	山形南	56	(2)	56	(2)	80.11	2	(0)	2	(0)	84.84
	中山	11	(0)	13	(0)	64.10	2	(0)	0	(0)	79.90
	山形西	93	(0)	94	(0)	94.25	7	(0)	6	(0)	95.69
	上山	17	(3)	17	(3)	61.76	1	(1)	1	(1)	79.84
	山形東	29	(2)	32	(3)	100.00	3	(1)	0	(0)	99.51
	山形中央	39	(3)	39	(3)	94.68	2	(0)	2	(0)	94.67
	山形イブニング	28	(1)	27	(1)	57.58	1	(0)	2	(0)	63.67
第6ブロック	米沢	56	(7)	57	(8)	96.49	2	(1)	1	(0)	79.41
	米沢上杉	70	(3)	74	(3)	97.30	6	(0)	2	(0)	98.14
	高畠	46	(3)	47	(3)	74.47	2	(0)	1	(0)	71.73
	米沢中央	39	(7)	41	(7)	98.78	2	(0)	0	(0)	99.22
	米沢おしょうしな	30	(4)	30	(4)	86.67	0	(0)	0	(0)	79.62
	長井	26	(0)	25	(0)	84.18	0	(0)	1	(0)	83.10
	南陽	10	(0)	10	(0)	70.00	0	(0)	0	(0)	73.02
	白鷹	19	(0)	18	(0)	92.64	1	(0)	2	(0)	89.37
	小国	17	(0)	17	(0)	88.25	0	(0)	0	(0)	87.90
	南陽東	34	(3)	33	(2)	79.81	1	(0)	2	(1)	76.82
	長井中央	19	(1)	20	(1)	72.50	1	(0)	0	(0)	72.41
	南陽臨雲	30	(2)	31	(3)	77.42	1	(1)	0	(0)	72.74
	合　計	1,569	(103)	1,601	(107)	83.41	73	(7)	41	(3)	83.53

ロータリー財団寄付

PHF+1
奥山　圭子
【天童RC】

PHF
東松　　實
【西川月山RC】

PHF
桜井　久夫
【西川月山RC】

新入会員

所属／南陽RC
職業分類／精密機械器具製造
落合　敏幸
Ochiai Toshiyuki
［2020年3月11日入会］

訃報

所属／鶴岡RC
職業分類／家庭用電気器具販売
阿蘇　司朗様
享年88歳
2020年３月４日ご逝去

台風15号・19号・21号豪雨災害ご支援の御礼と報告

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナー　諸岡　靖彦

この度は、2019年の台風15号・19号・21号豪雨災害に際しましては、心温まるお言葉や励ましのお言葉を頂き、多大なる支援金をお寄せ頂き、誠にありがとうございました。

これまで経験したことが無いほどの暴風雨と、降り続いた集中豪雨により河川の氾濫や土砂崩れが発生し、家屋や山林農地等に甚大な被害をもたらしました。それによりライフラインの寸断等の生活の基盤の復旧に月日を要しました。現在も被災者の方々は、生活再建を中心とした復旧活動に取り組んでおられます。

お寄せいただいた支援金（55,401,271円）は激甚災害指定地域の市町村へ、又、被害にあわれた地区内クラブへお届けしました。

現下、世界は新型コロナウイルスが蔓延する渦中にありますが、全国のロータリアンと共に、一日も早い沈静を願うものです。

ここに、全国のロータリアンから温かいご支援に厚く御礼申し上げますと共に、ご報告 申し上げます。

新型コロナウイルスの影響で2020年ロータリー国際大会が中止に

新型コロナウイルス（COVID-19）による脅威が続いていることを受け、この度、2020年6月6～10日に開催予定だったロータリー国際大会が中止となりましたことをお知らせいたします。

今年度に大会を開催できないのは誠に残念ですが、出席者や関係者の皆さまの健康を守るために必要な決定であることをご理解いただければ幸いです。

お知らせ

（公財）ロータリー米山記念奨学会ニュース
★ハイライトよねやま240号★　2020年３月12日発行

◀全文は、こちらよりご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highligh240_pdf.pdf

Schedule of April 2020
４月の地区スケジュール

日	曜	主要な行事	母子の健康月間
4/1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金	ロータリー財団補助金審査会	
11	土		
12	日		
13	月		
14	火		
15	水		
16	木		
17	金		
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火		
29	水	（昭和の日）	
30	木		

日本一の芋煮会大鍋（山形市）

人間将棋（天童市）

お達磨の桜（中山町）

上野 啓太氏のプロフィール

1960年、東京湯島生まれ。20歳の頃から商業イラストレーターとして、雑誌等で幅広く活躍した。数年前、生まれ育った湯島・本郷の町並みを描き展示会を開いたところ、地元の人々の大きな感動を呼び、NHK をはじめメディアの取材が相次いだ。以後“ふるさと画家”として、そのあたたかいイラストをひと目で好きになるファンが急増中。都内、さらに遠く北は北海道から南は九州まで、全国から「わが街を描いてほしい」という依頼が次々に舞い込むようになった。現在、一般社団法人マーチング委員会の理念に共鳴、マーチング委員会の主要画家として活躍中。

国際ロータリー第2800地区　地区事務局

〒994-0027　山形県天童市桜町2-20
TEL:023-687-0208　FAX:023-687-0209　E-mail：office@rid2800.org
http://www.rid2800.jp/